ＭＳ１３１−１８００１

油温･油圧センサー用アタッチメントセット

取付・取扱説明書

この度は８６用 油温・油圧センサーアタッチメントをお買い上げ頂きありがとうございます。開封時に必ず構成部品がある事、商品の外観に傷、凹み等の無い事をご確認下さい。本書には上記品の取付要領と取扱いについて記載してあります。取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付、取扱を実施して下さい。なお本書は必ずお客様にお渡し下さい。

■品番・適合

品 番	適 合 車 種	型 式	エンジン	年 式	備 考
ＭＳ１３１−１８００１	８６	ＺＮ６	ＦＡ２０	’１２．０４ ～	

・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧下さい。<http://www.trdparts.jp/>

■構成部品

	部 品 名	品 番	数 量	備 考
①	アタッチメント本体		1	
②	ユニオンボルト		1	
③	取付・取扱説明書(本書)		1	

はじめにお読み下さい

■この説明書には製品を装着～使用する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになり正しくお使い下さい。
　内容を守らずに発生した事故、故障等の損害に関しては責任を負いかねますので、ご了承下さい。
■この説明書はいつでも取出して読めるよう、大切に車内に保管して下さい。
■この製品は説明書に記載のパーツリストの部品、付属品で構成されています。不足や不具合の際は販売店にご連絡下さい。
■車両に本製品以外のパーツ取付けや改造を行った場合に発生する不具合に関しては責任を負いかねますのでご了承下さい。
■お客さま本人又は第三者の方が、製品及び付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障その他の不具合によって受けられた障害にについては一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。
■本製品及び付属品の仕様は、予告なく変更する場合があります。

警告

⚠自動車の部品交換は、本来整備の整った自動車整備工場で専門教育を受けた整備士が行うべき危険な作業です。
　作業を行う場合は、必ず車が動き出さないような措置をして下さい。
⚠幼児・子供・ペットを伴った作業はしないで下さい。部品を飲込む等、思わぬ事故に繋がる場合があります。

取扱について

注意

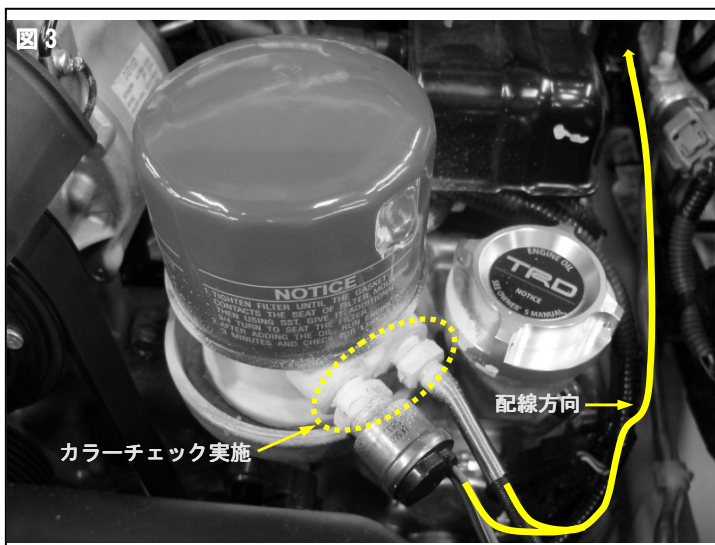
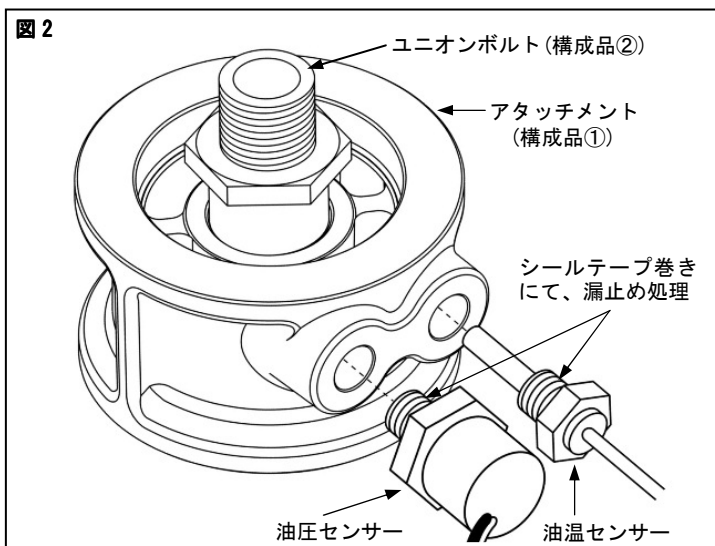
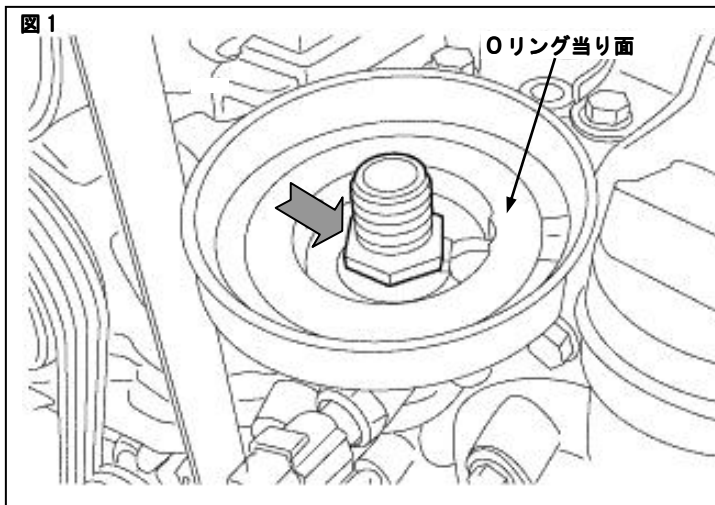
⚠ご購入者本人が取付けを行った場合は保証の対象外となりますので、必ず設備が整い、自動車修理の有資格がいる整備工場で取り付けて下さい。
⚠本製品に加工や改造を加える事をしないで下さい。取付に支障が生じるばかりで無く、保証の対象外となります。
⚠本商品を装着前に落としたり、車両への装着時や取付時に無理な力を加えないで下さい。部品の破損やセンサー本体の取付不良が発生する原因となります。
⚠センサー配線の取回しについては、必ずエンジンルーム内の不動部を利用し確実に固定して下さい。

Racing Development TRD トヨタテクノクラフト株式会社
〒222-0002 横浜市港北区師岡町800 TEL(045)540-2121 FAX(045)540-2122

油温・油圧センサーアタッチメント取付作業

図１

図２

図３

１．オイルエレメントの取外し。

1. 車両からオイルエレメントを取外す。
2. 中央のエレメント取付用ユニオンボルト（矢印）のネジ山の状態を確認する。

⚠注意
- Ｏリング当り面をきれいに清掃して下さい。
- ネジ部にゴミや切粉が無いかを確認・清掃して下さい。（構成品②の取付部になります）

２．アタッチメントの取付け。

1. アタッチメント単体の状態で、図２を参考にしセンサーネジ部にシールテープで漏止め処理を施しアタッチメントに取付ける。(12.2～17.1N･m)

⚠注意
- どちから１つのセンサーを取付ける場合は、図２の位置と同様になる位置に取付けて下さい。

2. アタツチメント下面のＯリング部にエンジンオイルを薄く塗布する。
3. 図２、図３を参考に、センサー及びセンサーハーネスが他の部位に干渉しない位置でエレメント取付部に乗せる。

⚠注意
- **アタッチメントをエレメント取付部に置く前に、裏面のＯリングに外れ、ズレが無い事を確認して下さい。**
- 車両側のオイルエレメント用ユニオンがアタッチメント中央穴の真中になるように置いて下さい。

4. 同梱品②のユニオンボルトをアタッチメントの中央穴に挿入し、手で車両側ユニオンボルトに締込み、ユニオンのフランジがアタッチメントに当った時点でトルク管理締めを行う。
(14.7～20.6N･m)

⚠注意
- 下面のＯリング保護を含め、②のユニオンボルト締付時にアタッチメントが共回りしないように、気を付けてユニオンボルトを締付けて下さい。
- アタッチメントのセンサー取付穴の盲ネジは仮締めになっています。油温・油圧どちから１つだけセンサーを取付ける場合には盲ネジを１度外し、シールテープにて漏止処理をした後に 12.2～17.1N･m で締付けて下さい。

5. オイルエレメントを再使用又は交換し、ＴＲＤアタッチメント部に手でオイルシールタッチまで締め、ＳＳＴでトルク管理する。(14N･m)

３．センサ配線の取回し（参考）

1. センサー配線の取廻しは、図３を参考に最初の結束部までは他部位に干渉のないように注意しながら、車両側のハーネスに沿わせ、メインハーネスグロメット部から車内に引込む。

⚠注意
- センサー配線をメインハーネスに止める際、最初の結束部とセンサーアタッチメント間はエンジンの振れを考慮し、多少の余裕を持たせて下さい。
- 図３のように、エンジン始動前にセンサー部分の漏れを点検する為、カラーチェックを実施の事。

Racing Development TRD トヨタ テクノクラフト株式会社
〒222-0002 横浜市港北区師岡町800 TEL（045）540-2121 FAX（045）540-2122